

名古屋市立大学 総合生命理学部開設記念特別企画

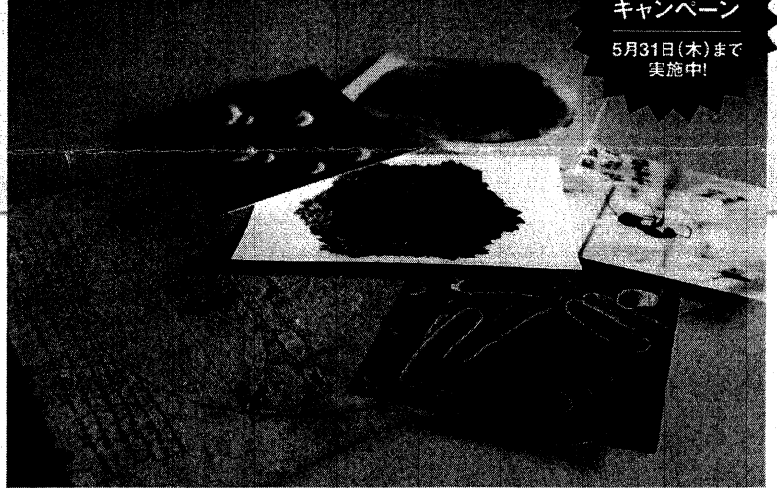
階層で分けて見る生命の不思議

—ウイルスから生態まで—

名古屋市立大学の総合生命理学部が2018年4月に開設することを記念して、生命の不思議について考えます。ミクロからマクロへ視点のレベルを変えると、面白いことがたくさん見えてきます。4月から始まる6ヵ月講座です。

入会金無料
キャンペーン

5月31日(木)まで
実施中!



- 講師 名古屋市立大学教授 鈴木善幸ほか
- 受講日 第4土曜13:00~14:30
※7月は第1週(7月7日)です
- 受講料 6ヵ月(6回)分 12,600円+税
- 持ち物 筆記用具

H30年4月~H30年9月 カリキュラム

4月28日	「生物の戦略とは何か？」担当:村瀬香 生態学は最もマクロな生物学の分野です。この分野では、生物の様々な「戦略」について研究しています。この戦略という考え方を、実例を出して説明したいと思います。
5月26日	「ウイルスのふしぎ」担当:鈴木善幸 ウイルスはとても小さな生き物ですが、とても巧妙に自己複製します。また、わたしたちの祖先に感染してそのままゲノムにもぐりこみ、わたしたちの一部になってしまったウイルスもあります。このようなウイルスのふしぎをいくつか紹介したいと思います。
6月23日	「地球大気の世界と細菌による地球温暖化」担当:櫻井宣彦 微生物によっても地球温暖化が進行します。ある細菌によって放出される温室効果ガスの影響が懸念されています。地球大気の世界を振り返り、微生物の功罪について考えてみましょう。
7月7日	「酵母を使って生物学上の未解決問題を解く」担当:中務邦雄 パンやビールの製造に使われる酵母は単純な生き物ですが、単純だからこそ、生物学上の未解決問題を解くヒントと材料がたくさんあります。科学者たちの熱い議論をお届けしたいと思います。
8月25日	「骨格筋の恒常性を維持する分子機構」担当:奥津光晴 筋肉の構造や機能は生活環境や加齢により変化します。本講義では、筋肉の構造や機能を適切な状態に維持する分子メカニズムについて分かりやすく説明します。
9月22日	「進化は予測できるか？」担当:鈴木善幸 インフルエンザウイルスやノロウイルスは毎年のように進化するため、有効なワクチンをつくるためにはつぎのシーズンにどんなウイルスが流行するか予測する必要があります。進化は予測できるのでしょうか？その可能性についてお話したいと思います。

詳細は右記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

- ※内容・日程は変更になる場合がございますご了承ください。
- ※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。
- ※お申し込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。



フリーダイヤル

0120-53-8164 10:00~19:00
日曜日は17:00まで

〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4F

名古屋・栄 中日文化センター

Culture & Communication 中日新聞

中日文化センターへ初めてご入会される方は、別途入会金(3,500円+税)が必要です。